



京のいきもの発見ガイドの 使い方・楽しみ方

このガイドブックは、京都に住んでいる皆さんに、市内の公園や身近な自然にふれてもらい、さまざまないきものを知っていただき、親しんでいただくという目的でつくりました。

●おうちの方、先生方へ

子どもたちと一緒に、このガイドブックをポケットに入れていきもの探しに出かけてみてください。

募集中

京のいきもの 発見レポートを 募集しています！

京都市では、毎年、市民の皆さんから寄せられた「京のいきもの発見レポート」をまとめて「京のいきものマップ」を作ってホームページで紹介しています。

最新情報は、京都市環境管理課ホームページまで！

京のいきものマップ

検索

皆さんの、「いつ」「どこで」「どんないきものを見つけた」という情報を、以下の方法でお寄せください。また、生きものの写真があれば、ぜひデータで御提供ください。御提供いただいた写真は、本市の印刷物やホームページ等に掲載することがございます。

📄 ハガキ 右ページを切り取ってお使いください。

☎ FAX 075-213-0922

✉ メール k-kyosei@city.kyoto.jp

facebook も、ご覧ください

<https://www.facebook.com/kyono.ikimono.tanteidan>

監修／京都精華大学教授 板倉豊氏
製作協力／梶田学氏、西台律子氏、久山喜久雄氏(五十音順)

発行：京都市環境政策局 環境企画部 環境管理課
平成26年10月発行
京都市印刷物第264578号

この印刷物が不要になれば
「雑がみ」として古紙回収等へ！
この印刷物は再生紙を使用しています。

14

14p

京のいきもの発見レポート

見つけたいきものを
教えてね。

例

いつ	どこで	見つけたいきもの	メモ			
10月25日 夕方4時ごろ	〇〇山	カワラタケ	倒れていた 木にたくさん			
月 日						
月 日						
月 日						
月 日						
月 日						
名前	所属					
幼稚園・保育園・小学校						
連絡先						

15

15p

料金受取人払郵便

中京局
承認
8492

差出有効期限
平成27年3月31日
(切手不要)

6 0 4 - 8 7 9 0

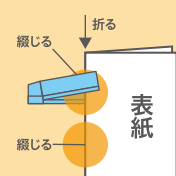
777

京都市中京区寺町通御池上る
上本能寺前町488番地 北庁舎 8 階

京都市環境政策局
環境企画部 環境管理課 行



まず、パンフレットを「手帳」にしてみましょう。



- 1, まず、「①山折り」の点線に沿って紙を折ります。
- 2, 次に表紙の左側をホッチキスでとじます。
※左端から1ミリくらいのところをとじると、使いやすくなります。
- 3, 切り取り線にそってページを切り離します。
(カッターで切るときれいです。)
※上部と右側をそれぞれ2カ所、切り離します。

いっしょにつくろう！



16ページの
ポケット手帳が
できあがり。

エコちゃん

16

16p

京都のまちなかでいきもの発見してみよう！
平成26年度秋冬版



京都市

このパンフレットはホッチキスでとじてページをきりはなすとポケット手帳になります。
この手帳を持って、おうちの人や先生と一緒にいきもの探しに出かけよう！

1p(表紙)

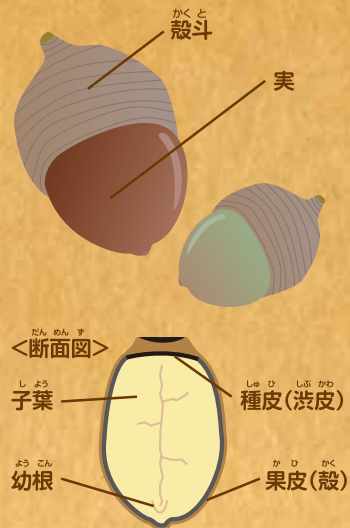


京の いきもの 発見!! ドングリ ひろいをしよう!



「ドングリ」とは、ブナ科の木の実を総称したもの。漢字では、「団栗」と書きます。「団」にはまるいという意味があり、栗のような実でまるいことからドングリという名になりました。ドングリは殻斗に包まれて成長していきます。殻斗は乾燥や害虫からドングリを守ってくれます。厚い皮に包まれたドングリのなかみは、2枚の分厚い子葉です。子葉では、葉が光合成でつくった栄養分をたくさんためています。春になると、この栄養分を芽生えに使います。その後、大きな木に成長し、ドングリをつけるようになるまでは10年ぐらいかかります。(気温や、湿度、日光のあたり具合などの条件の違いや木の種類によって、年数には差があります。)

日本に自生するブナ科の樹木は、22種類で、京都市内の森では、主に6種類のドングリがひろえます(P8～P9で紹介しています)。ドングリをひろうときは、ドングリと一緒に殻斗もひろいましょう。ドングリがなっている木の樹皮や葉の特徴もつかめば、ドングリ博士になれるよ!



6

6p

数十年後、ドングリひろいが むずかしくなってしまう…かも?

「ナラ枯れ」って知っていますか? ナラ・シイ・カシなど、ドングリができるブナ科の樹木が枯れる森林被害のことです。京都市内の山を見ていても、夏なのに葉が緑色ではなく、茶色になっているところがあります。茶色くなっているところはナラ枯れの被害を受けている可能性が高いです。



東山



ビニールを巻き、樹脂を塗っている木

ナラ枯れが広がらないようにするためには、被害を受けている木を切ったり、健康な木に樹脂を塗ったり、ビニールを巻き付けてカシノナガキクイムシがつかないようにしなければなりません。



カシノナガキクイムシ (大きさ 約5mm)

7

7p



京都で見つかる、



ツブラジイ(2年型)

ブナ科シイ属

【形や大きさ】小さくて球形に近い。0.6～1.2cm 【殻斗】ドングリ全体を包んでいる。【葉】細い。裏は金色。【樹皮】樹皮はなめらか。



スダジイ(2年型)

ブナ科シイ属

【形や大きさ】ツブラジイに比べて大きく、卵のような形。1.2～2cm 【殻斗】ドングリ全体を包んでいる。【葉】ツブラジイに比べて大きめで厚い。【樹皮】樹皮が縦に深く裂ける。



アベマキ(2年型)

ブナ科コナラ属

【形や大きさ】大きくて真ん丸よりも、少し縦が長い形。2～2.5cm 【殻斗】トゲトゲしており、ドングリの半分ぐらいを包んでいる。【葉】葉のふちに小さいギザギザがある。葉の裏には毛が生えており、白っぽい色。【樹皮】樹皮に深いしわがあり、樹皮を指で押えると弾力がある。

クヌギと見分けるには、葉や樹皮をしっかりと確認!

8

8p

ドングリたちの紹介!



クヌギ(2年型)

ブナ科コナラ属

【形や大きさ】大きくてほぼ真ん丸の形。2～2.5cm 【殻斗】トゲトゲしており、ドングリの半分ぐらいを包んでいる。【葉】葉のふちにあらうギザギザがある。葉の裏はうすい緑色。【樹皮】樹皮のしわがアベマキに比べて浅い。



アラカシ(1年型)

ブナ科コナラ属

【形や大きさ】先の方がややふくらしている。1.5～2cm 【殻斗】よこしま模様。【葉】葉の先半分にギザギザ。裏は白っぽくくすんでいる。【樹皮】樹皮は灰色でなめらか。



コナラ(1年型)

ブナ科コナラ属

【形や大きさ】細長い形。1.5～2.5cm 【殻斗】うろこ模様。ドングリの大きさに比べると、殻斗は小さい。【葉】葉のふちにすうどいギザギザがある。葉の先っぽの方が幅広い。葉の裏には毛がある。【樹皮】樹皮の裂け目が暗い色で、平らなところは白いため、白黒のしま模様に見える。

9

9p



京都の鳥たちを調べよう!①

食べ物を貯めておく

えさを地面や木のあな、石がきなどにかくしておくことを貯食^{ちよしき}といいます。カラス^{からす}類やシジュウカラ類、ゴジュウカラ類などで見られる行動です。

森が広がるのを助けているカケス



森の育て屋さん **カケス**
(カラス科 体長33cm ハトくらい)

カケスは、ドングリのなかまやクリなどを土の中や枯れ葉の下などに貯めていきます。その上をさらにコケや枯れ葉などでかくしておきます。食べ残された実は芽がでやすくなり、新しく木が育っていくのに協力しているというわけです。

(体長は、くちばしの先から尾の先までの長さです)

10

10p

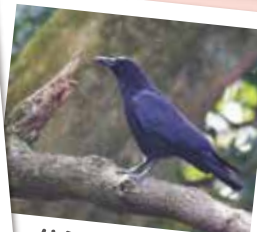
鳥を調べてみましょう

いろいろな所にかくしてしまうカラス



ハシブトガラス
(カラス科 体長56cm)

木のあなにえさをかくす
ハシブトガラスとハシボソガラス



ハシボソガラス
(カラス科 体長50cm)

カラスは、切り株や建物のすきまなどにもえさを貯めておくことがあり、かくした場所をよくおぼえています。

あしゆびの器用なヤマガラ



とっても器用な **ヤマガラ**
(シジュウカラ科 体長14cm スズメくらい)

エゴノキ^{ゆうどく}は有毒でほかの鳥は食べません。ヤマガラは、有毒な果肉^{みく}のふぶんをあしゆびでおさえてくちばし^{くちばし}で取りのぞき、種だけを木の穴に貯えたりすることができます。

11

11p



京都の鳥たちを調べよう!②

キツツキのなかまを

キツツキとは、木をつついて木の中にひそむ虫をさがす鳥のことです。どれも「・・・ゲラ」という名前がついています。幹の下の方から回りながら上に向かって行きます。木の皮^{かわ}にひそむ虫をとらえたり、虫があけたあなにねばりけのある舌^{した}をさしいれたりして虫を引き出します。

アオゲラ

アオゲラ (体長29cm ヒヨドリより少し大きい)



アオゲラのオスは頭の上も赤い



エノキなどの実もついばむ

キツツキのなかまは、垂直にとまることができます。あしゆびだけでなく、かたい軸^{はし}のある尾羽^{おは}も使って体を支えます。虫以外にエノキやムクノキなどの実を食べることもあります。アオゲラは、地面におりてアリなどもよく食べます。「ケツ、ケツ、ケツ…」の他に「ピーーピーー」と口笛^{くすい}のような声で鳴くのが特徴です。木をつつく(ドラミング)音はアカゲラとよく似ています。

12

12p

見分けてみよう!!

アカゲラ

アカゲラ (体長24cm ムクドリくらい)



アカゲラのオスは後頭部^{ごとうぶ}が赤いのが特徴です。「ケツ、ケツ、ケツ、ケツ」と一声ずつ区切って鳴きます。ドングリやマツの実を木のくぼみに押し込んで食べやすくします。(写真右)ドラミングの音はよくひびきます。

コゲラ

コゲラ (体長14cm スズメくらい)



コゲラは、「ギイー」と鳴きます。春ごろは、「キッキキキキ」という声でも鳴きます。虫の他にマユミやモッコクなどの実もついばみます。サクラのみつを吸ったりもします。ドラミングの音はアカゲラに比べると小さな音です。

13

13p